

慰安任務

「アタリ」

～下忍と19100人抜き～



落書き差分



魚齒満

ある日、木ノ葉隠れの里の下忍
日向ヒナタに、特殊な任務が
言い渡された……。



里きつての名家の産まれだが
忍の才に恵まれなかった彼女に、
国の大名達から直接声が掛かった。
親交を深めるといふ建前だが、
事実、「慰安任務」と呼ぶべきものであった。
ヒナタは家の名誉のため、単身大名の元へと
悲痛な面持ちで向かうのであった……。

お、お邪魔します
今日はその…
任務って聞いて…

おお、よく来たね
ヒナタちゃん
待ってたよ

カア…

すみません
遅くなって…
ちよつと迷ってしまった
というか…えつと…


もい
もい

ほお…この娘か
写真で見るとより…
こりやまた立派な…

いやあ…顔も
べっぴんで身体つきも
たまらんな

うう…
あの…に、任務に
ついてお話を…

おお、すまん
皆見とれて
しまつてのお



ヒナタに与えられた「任務」は、
自らの身体を使ってもらい
大名その他「百人」を満足させる
というものだった。

まだ年端もいかぬ
名家の生娘とあって、
性交、いわゆる本番は
禁止されている。

この大名たちは皆
ある共通の性癖をもち、
貞操が保証されている事は
ヒナタにとって救いだった。

つまり彼らは
ヒナタの年不相応の
身体つきを……

とりわけその豊満な
乳房を楽しむために
依頼を出した。

「パイズリで
百人の性処理を
行う……」

ヒナタは嫌悪感を
必死に隠しながら
その条件を
受け入れた。

自分が失礼をすると
家にも自分にも
悪い影響が
でてしまう。

健気な少女の
気持ちなど
度外視して、
この男たちは
ヒナタの胸を
執拗にいやらしく
ねちっこい視線で
見続けていた。

ば、パイズリ…
っていうのは
なにから始めれば
いいんでしょうか

まずその厚手の上着を
脱がないとおじさん達
おっぱいちゃんと
確認できないでしょ？

ぽんぽん

う、じゃあ脱げば
いいんですか…？

そうそう、わし達の
前で服を脱いでみる
ストリップじゃストリップ

今どきの子は
分かんないでしょ
ほら、とりあえず
脱いでごらん

は、はい…
わかりました…

素直でかわいいの、
しっかり見えていて
やるからなあ

堂々と自分の
身体を舐め回して
くる視線。

フウ...

自分の体付きを
隠すために厚手の服を
着ているのに、それを
脱ぐことを強要される。

この異様な状況に
飲まれ、ヒナタの
身体は不本意な熱を
帯び始めていた。



……えっと
ぬ、脱ぎますから
あまり見ないで
ください……

だーめ、
おじさんたちに
しっかり見せないと
駄目だからね、
任務にならないよ？

うう、なんで……
恥ずかしいよお

カマア……

まあ脱がなくても
おっぱい大きいのは
分かるけどね
ムチムチだもん胸周りが

ズジャウ……

そ、そんなの
知りません……
ひどい……

ニヤ

ニヤ

ニヤ

絶対大きいよ
想像しただけで
勃起してきたもん

ぼ……っ!?
い、いやっ
困ります!

何言ってるんだね
ヒナタちゃん
チンポ勃起しないと
パイズリ出来ないぞ
そのおっぱいで
チンポ挟んで
気持ちよくさせる
のが任務なんだから

ち、ちん……
うう、それは
そうかもしれない
ですけど……

早く脱げよ
とりあえず上着だけ
でもいいからさあ

脱ぐっ
脱ぎますから
そんなに
見ないで……!

ひゃい……

直接男から自分へ
投げかけられる
性的な言葉。

部屋に充滿している
男の滾った香り。

自分の大きな胸に
注ぎ込まれる
視線はますます
期待に染まっている。

ドキ
ビキ

ドキ
ビキ

嫌悪感と羞恥心、
それに少しずつつ湧く
性的な興奮を感じて
しまっている自己嫌悪。
ヒナタは逃げ出して
しまいたい程だった。

しかしこれ以上
待たせてしまつては
無理やりにも
脱がされてしまうかも
しれない。

意を決して
ヒナタは上着を
ゆっくりと脱ぎ
始めたのであった。

じゃあ、ぬ、
脱ぎます…

ぐんぐん

んう…

ひひひ

おお、ついに
ヒナタちゃんの
生脱ぎっ！

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ア…

まだかいの
まだかいの

うう、そんな風
見られたら
脱ぎにくいよ…

おお、胸のところで
つかえてるぞ！
どんだけ大きいんだ！

んう…く…
よ、よいしようと

ほんと...

あははははは...

あははははは...

はははははは

大きく揺れて
現れた薄布越しの
双房に男たちが
どよめく。

ヒナタが上着の下に来ていたのは、黒地の地味な肌着。

意図せず見えてしまう身体のラインが、また視線を集める……。

カー……

あの……ちよつとみ、見過ぎですそんなに見たって仕方ないのに……

男というもんはな、大きなおっぱいが大好きなんじゃ

そうそう、こんなに大きいおっぱいはジロジロ見なけりや失礼ってなものだよ

だ、だからって任務とは違うじゃないですかどうせなら早く始めさせてえ……

ぐず...

アアアアア

お、それって早くパイズリがしたいってこと？とんだスケベ娘だなヒナタちゃんは

ええっ!?

だって早くさせて欲しいんですよ？

チンポ挟みたくなっちゃったんじゃないの？

違います！私……私……だって任務だからっは、早く済ませたいって思って……グスツ

あーおいおい泣かせちゃったよ

ぐず...

まあ、おじさん達も悪かったよ、じゃあ早く済ませるためにももう一枚脱ごうか

え、あの...
挟むっていうのは裸じゃないと駄目なんですか？

いい質問じゃな確かにそのままでも出来るかもしれないがわしらは生乳でやりたいんじゃないか

ああ、でも安心して上だけでいいからね大丈夫大丈夫

は、恥ずかしいよお...でも、分かりました私がぐずぐずしてたら終わらないから...

さすが名門！
優等生だね
じゃあ脱いでね

手が最後の一枚に伸び、
悩ましげに脱ごうと
している様はまるで
淫売が男を挑発している
ような雰囲気すらあった。

うん…

男たちは言葉も
失い、その一挙一同に
目玉が飛び出るほど
強い視線を浴びせる。

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ス
……

彼女は目をつむり
心を無にするよう
つとめなければ
ならなかった。

さもなければ
自分自身もこの
淫靡な空間に
吞まれてしまう。
それほどの熱気
がそこに生じていた。



いかに

るん

!

ヒナタは身体を
振るわせていた。

上半身を、乳を丸出しに
しながら欲望剥き出しの
男どもに囲まれている。

それでも身体を
隠すことは
しなかった。

彼女は忍者であり、
任務のためと
必死に耐えていた。

男たちの荒い
息遣いが耳元を
くすぐるように
近く大きく聞こえる。

それがまたヒナタに
状況の異常さを
再認識させて
しまうのだった。

ぐず...
ぷる

ううう...
恥ずかしい...
恥ずかしいよお...

ぎゅつと目を瞑ったまま
涙を浮かべるヒナタに、
男たちはたまらずに
加虐心を駆り立てられる。

ヒナタちゃんの体

エロすぎだよ!

そんな凶器を

隠し持ってるなんて

大した忍だなあ!

ぷる

なんちゆう

キレイな乳じゃ

老いぼれには刺激が

強すぎるわい!

うう...
知らない...
知らないの私
知らないよお...

ぷる

ぷる

ヒナタちゃん、
目瞑ってたたら
駄目だよ

うう、はい……

……っ！

……っ！

目を開けた
ヒナタの目に
映ったのは
大量の裸体の男。

状況が変わった
わけではないが
服を脱ぐ前とは
明らかに雰囲気
変わっていた。

ひい……っ
う、うう……

もう我慢できないよ！
やらせてもらおうよ……

プル
プル

「パイズリ」

……っ！

待ってましたとばかりに男どもは既にいきり立っていた肉棒を一斉にヒナタへと向けた。

えっ……やだ……っ
ひっ、嘘……!?
こ、こんな……

ほーらヒナたちちゃん
これがおちんちんだ
だよ、キミの体で
皆勃起しちゃった
んだよ

や、やだ、やだあ!

ちよつとヒナタちゃん、
怖がってても仕方
ないでしょ？
おちんちん初めてなのは
分かるけどさあ〜

すみません
うう、すみません

ぐず

うう、わた…私、
こ、怖くて…
ご、ごめんなさい

誰にだって
初めては
あるんだからね
たまたま任務だった
っていうだけでしょ？

はい…
大丈夫です…

さあ、少し落ち着いたら
ところで改めて確認ね
今から君はなにをするの？

えっと……
ぱ、パイズリ……

うほっ！
ヒナタちゃんが
卑猥な言葉
言った！

うう……

チン棒百本抜きや。
百本射精させて
やっと任務達成や、
分かつとるのう？

で、できるかな……
百本なんて……
私ほんとに経験
なくて……

大丈夫、おじさん達
もう見てるだけで
射精しそうだから
サクサクおっぱいで
抜いていこうね、これも
修行だと思ってさ

はい……

ピニ

ピニ

こうしてヒナタは
男たちの相手をも
始めることになった。

射精人数
残り100人

よし、最初は
おじさんから
やらせてもらおうよ

…はい

羨ましいのお…

あんな、皆で

くじ引きして

順番決めたんじゃ

そ、そうなん
ですか…

おっぱいとはいえ
初物だからね
パイズリ処女！
さあ、胸をぎゅっと
してみてくださいん

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

むきゅん

こ、こんな感じ
ですか…？

お、いいよ
それでおじさんの
方に向いてみて
チンポ挿れるから

う、うう…
はい…

オラッ!

ひっ!

ん

お、おおお……
す、すごい乳圧……
なんておっぱいだ……

あ、熱っ
いやあ!

ヒナタちゃん
ついにパイズリ処女
喪失しちゃったねえ

そんな言い方
やめてえ……

パイズ!

うおお。。。
気持ちよすぎて
動いたらもう
出ちやいそつだよ

う。。。

なら早く
出さんかい！
後がまだまだ
つかえとんじゃ！

わ、私は
どうしたら。。。
怖いよ。。。

ん。。。

このまま動くから
じっとしててね！
すぐ出るからね！

ひ、ひい。。。
精液。。。っ！



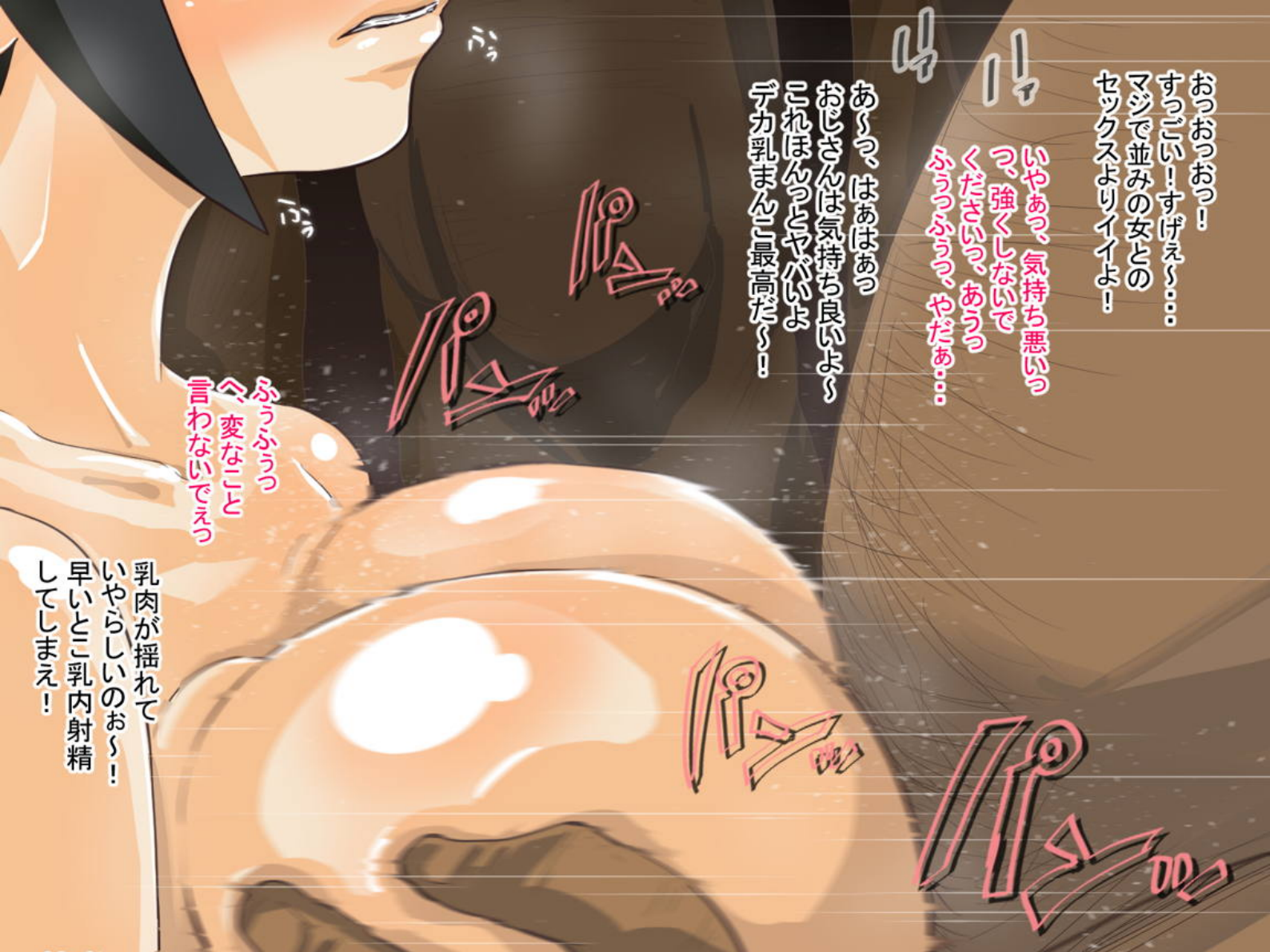
おっおっおっ！
すっごい！すげえ〜…
マジで並みの女との
セックスよりイイよ！

いやあ、気持ち悪いっ
つ、強くしないで
くださいっ、あうっ
ふうっふうっ、やだあ…

あうっ、はあはあっ
おじさんは気持ち良いよ
これほんつとヤバいよ
デカ乳まんこ最高だ〜！

ふうふうっ
変なこと
言わないでえっ

乳肉が揺れて
いやらしいのお〜！
早いとこ乳内射精
してしまえ！



ぐうっハマッハマッ
腰止まらないよ！

「このっ」のっ
「このヒロ乳娘」のおっ！

うっっ、ちがっ……あうっ
みっつみっつ……
痛いっ……うっ……っ……

おらおら！
これがパイズリだぞ！
ヒナタちゃんの身体が
エロいから出来るんだぞ！

そんな勝手に……！
別にえ、エロくなんか
ないもん……っ

とほげるなあ！
その歳でこんなおっぱい
エロいに決まってるだろお！

ぐん、ぐん
ぐん……っ

ズ
しゃっ！

パン
パン
パン
パン
パン

おおおっ
出そう出そう
あゝ気持ちいいー！

ぐっぐっぐっぐっぐっ

ちくしょっ！

はあはあっ

ワシらに早く

よこせー！

も、物みたいに
言わないでえ...

なにい？

本番無しで

我慢してるんじゃ！

お前はオナホじゃ！

パイズリオナホじゃ！

ひぐっ...ぐすっ

お、オナホじゃないもん

違うもん...ぐすっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



音変わってきたよ！
先走り汁でおっばい
又ル又ルだよ！
はあっはあっ

や、やだっ
いやああっ

ああ出るっ
出る出るっ
ホントにイク…

ひっ…
や、このまま
出すつもり
ですか…？

当然…っ、ふっっ
パイズリは侠射が
最高なんだよっ！

(おっ、)

(おっ、)

(おっ、)

(おっ、)

おお。。。おお。。。
あつたけ。。。。

あの。。。せ、精液まだ
止まらないんですか。。。？
く、臭くて熱い。。。。

どろ。。。。

ふう。。。出た出た
ありがとねえ。
気持ちいい射精が
出来たよお。。。へへ

き、気持ち悪いから
早くどけてください！

そうじゃな、
早く抜いてワシに
代われ！ほら
ヒナタちゃんも
ぼさっとするな！

す、すぐですか？
ちよっと待って
下さい。。。やあ

射精人数
残り99人

うっ、また
ちんちん入ってきた...
こんなの何回も無理だよ...

おっ「りやええわ...
オナホールは撤回や
全然こっちのがええぞお」

めいぼ

うっ、気持ち悪い...
なんでこんな事に...

ちよつと乳寄せてみい
もつと具合よおくなるわ
ほれ、早よせんか!

わ、分かったから
怒らないでくださいっ

ヒナタちゃんかて
さっさと済ませたいん
じやるゝが、黙って
締め付けたらええんや

うっ...
怖いよ...

正口過ぎて
見てるだけじゃ
我慢ならない！
無駄撃ちしちゃうぞー！

うう…お、オナニーしてる…
それで射精して満足して
くれるなら良いですけど…

あくまで任務は
パイズリ奉仕！
ぶっかけは別枠じゃる！

じゃあ止めて
ください…
だ、大体その…
なんでそんなに
擦ってるの…？

君は自分が思ってる
以上にチンポに来るんだよ！
おっさんに巨乳を犯されてる
その姿、たまんないんだよ！

お、おかずに
されてるんだ…
わ、私おかずに…

こりや！忘れるな
お前が奉仕しとんのは
わしのチンポじゃる！

ぬちゅ、
しおちゅ、

ぽん

わ…

しゅ

しゅ

ああ出るっつ！
ヒナタちゃんあん！

ひっ！

おお、おお出るっ

おい！なんて奴だ
人がパイズってる時に……
ヒナタちゃんのおっぱいが
ドロドロではないか！

いやあ……せ、精液
熱い、熱いよお……
私の胸にこんなに……

ドビュッ

ひっ

ひっ

ヒナタちゃんも何を
興奮しとるんだ！
精液で汚されて
嬉しいのかこの変態娘！

ち、違います
そんなんじゃ……

あーワシも射精したく
なってきたわい！
ほれ、手でそのエロ乳を
寄せて挟んでみい！

うう、ねちよねちよしてる…
臭いしべたべただよお…
こゝ、こんな感じですか…？
これ痛くないのかな…

ヒナタちゃんかわいゝ
爺さんのチンポ
気遣ってるよ(笑)

ふう、ふう、だ、だって
結構強くしてるから…

ゴ
ー
ッ
ウ
ラ
〜♡

そんな気にせんでええ
わしのデカマラはそんな
やわくないんじや！
そのまま締めつける！

そ、そうですか…
よく分からないけど
「う、ぎゅっ」と…

そのままおっぱい
動かしてみい！
そのいやらしい
デカ乳動かせ！

うう…変な言い方
やめてください
こ、ことうですか？

おっ！す、すごいっ！
これはっ、おほっ、くっ
き、気持ちええぞお！

気持ちいいんだ…
ことうするんですか？
精液で滑って…はあはあ
気持ちいいんですか？

うわ、えげつな…
絶対気持ちいいだろ…
ホントに処女かよ
あの子…エロすぎだろ

あっ、あかん！何やっ
この乳っ、このテク！
ちよっ、出てまうっ
乳離せ、あっあかんっ！

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ああっ、くそおっ
出る出る出る！
まだ出るぞおっ！

んっ……っ

うおっめっぢゃ
出してるし……
早く交代してくれ！

はあ、はあ、
これで二人……っ？
もう疲れたよお……

くう、もう少し
味わいたかったが
出してしまったのは
仕方ない、次誰や？

はあ、はあ……
少しいいから
休ませて
ください……

射精人数
残り98人

興奮した男たちは
ヒナタに群がった。
精液濡れの乳房が
性欲を刺激したのだ。

次、僕でいいよね？
ヒナタちゃん、
次僕だよね！？

ひっそんなの
知りませんっ
順番は決まっ
てるんじゃ…

もう我慢できないから
俺にやらせてくれよ！
順番とかもういいだろ！
パイヌリさせてくれ！

お、お願いだから
ちゃんとルールを
守ってください！
私もできるだけ
頑張りますからあ！

一応次俺だから、
落ち着けてほんと
ヒナタちゃん
怖がってんじゃない

わ、分かったよ
つい興奮して…

若い男が皆を静止した。
これが無ければ無秩序に
ヒナタは大事な貞操すら
奪われていたかもしれない。
それほどの熱気だった。

ひい、ひい…
つ、次の人
お願いします…

ヒナタは恐怖と
羞恥、嫌悪感に
気を失いかけたが、
任務を終わらせたい
その一心で次の奉仕を
催促をしたのだった。

（が、頑張って
任務するから
私頑張るからね
ナ○ト君…）

よし、そしたら俺は
縦パイプリーしてほしいな
できるでしょそんな
おっぱいデカかったらさ

おっいいね
してもええ
してもええ

え、えっと
どういう風に
すれば……?

さっきはちんちんを
おっぱいぐにゅぐにゅ
って挟んだでしょ？
それを、こっやって
持ち上げる感じで……

きやうっ!?

うう、さ、
触らないで……

はいはい、じゃあ
自分で持ち上げてね
後がまだまだ支えてる
からちやっちやとホラ

ずらあ

ぐおおおい……
そうそう、締めて、
締め付けてえい……

ぐ
ト
ン
キ
ウ
ン
ン
ン
ン

BAIII

ニキ♡

おお、すっげ……
挟んだだけで
これかよ……
とんでもねえな……

ニ、ニ、ニして
いれればいい
いんですか……？

うん……俺が腰動かすから
そのまんま維持して……

分かりました……
ど、どうか早く
射精してください

言われなくても
もうやべえよ……
う、動くからねっ

ああっ気持ちいいっ
マジかよこれっ！
はあっはあっ

くそっ腰が
止まらねえ！

わ、私は何もして
ませんけど……

ああっ乳圧が
すごいんだよう！
大きいとは思った
けどこれは……っ

は、恥ずかしい……
何もしてないのに
そんなの……

はあっはあっ！
お願いヒナタちゃん
ぐにぐにっとして
おっぱいぐにぐにっ！

ぐにぐに……
うっかな……

ど、ど、どですか
気持ちよく
出来てますか……？

ぐっぐっはあっ
良すぎぬっ

みかん

みかん
みかん

ああ駄目だ……
出ちまうよ
ごんなの……っ

うっ、どっどっぞら
出してくだわら
早く出して……っ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ああくそおおっ！
出るっごんなつくそっ
もっと味わいたいのに
我慢できねえっ！

ほ、ほら
出してっ
ぐにぐにっ
ぐにぐにっ

出るっヒロすぎる
「いっ……」の娘
うっっ出るよ
ヒナたちやあんっ！

あががああっ
出る出る出るっ

んっ…熱っ
すごい量…っ

と
びゅっ
♡


と
んゅっ
んゅっ
♡

うわゝ、兄ちゃんも
えげつねえ量射精
してんなあゝ…

極楽行った
みてえな顔
しよって…

（こゝ、こんなに
射精して…
私の胸って
そんなに気持ち
いいのかな…）

射精人数
残り97人



ヒナタの縦。パイズリは
男たちに気に入られ、
後続の男が何人か
続いて射精した。

ヒナタの方も少しずつ
男の扱い方(と)についても
胸でだけだが)を理解
してきていた。

忍としての素質を
期待されていない彼女
ではあったが、性技に
おいて言えば男たちを
骨抜きにする逸材だった。

イクイクツ!!

うっ、臭あい……
す、少し早かった
ですね……
お疲れさまです……
っ、次の方どうぞ……

と
い
びゅー
びゅー
びゅー

と

ヒナタちゃんも
大分チンポに慣れて
きたなあ、こりや
淫乱の気があるわ

ぼん

セックス禁止
なのがホント
もったいない

まあそろそろ
縦パイズリも
見飽きてきたし、
別のしてもらえよ

ぼん

射精人数
残り86人

ヒナタちゃんのおっぱい
大分精液まみれになって
来たね、いやらしいよ……

い、いやあ、臭い……
あ、洗ったりしたら
駄目なんですか……？

何言ってるのもったいない
精液いっぱい乳に載せて
おくんだよ、分かったね

うえ……そんなの
き、気持ち悪いよ……

さて、次はヒナタちゃんが
積極的にパイズリするのが
見たいなあ、次おじさんだから

積極的に
ですか……？

自覚があるか分からない
けど、ヒナタちゃんって
結構チンポにクることで
言ってくれるんだよね

え、そ、そんな
つもりは……

おじさん達を興奮
させるのが上手なんだね
才能あるよヒナタちゃん

そんな才能
欲しくないです……

まあまあ、そう言わずに
おじさんのチンポ優しく
おっぱいで包みこんで
エッチなこと言ってほしいな

……えっ!?

じゃあ、おちんちん
入れていくから、
エッチな言葉使いながら
パイズリしてねえ

そ、そんな急に
言われても
私そんな言葉
知りません…

大丈夫、ほら、
今からおっぱいに
何が入るの？

え、そ、それは…

知らないわけ
ないよね？
口に出してごらん

口…

ほら入っていつてるよ
これ何？言ってるほら
ヒナタちゃん言ってる！

う、ああ、
ち、ちんちんが
入ってきてます……

ああ、ぬるぬるだよ
なんでこんななに
精液まみれなの？

な、何人も私に
むかって射精
したから……
ば、パイズリ
したからです……

あ、いいねえ！
興奮するよお……
あ、もうすぐ全部
入る……入るよお……

ぬ
り
ぱ
ん
っ
♡

ちん
ちん
っ
♡

あっ……
その……先っぽが
出てきました……

はみ出ちゃったねえ

すぽん

ぬるぬるなのに
ギュって締めてる
からすっごく
気持ちいいよお

あ、ありがとうございます
『じゅん』

でも……からだよ
エロい……っっぱい
言いながらズってね♡

や、やってみます……

あぁいいよお
おっぱいの
振動すいーい

「いーい」ちゅって
ぶるぶるって
ぐにぐに揺ってるの
気持ちいいですか？

お、おっぱいで
臭いちゃんを
挟まれてそんなに
気持ちがいいんですか？

ああ、いいー！
いいよー！もつと
言ってもつとー！

そんな顔して、
あなたという人は
ホントにおっぱいが
好きなんですね

そうだよ！
大好きだよお！





うああ、激しい
ああ、駄目だあ
気持ちよすぎるころうっ

ぽちゃん♡
ぽちゃん♡

そ、そんなにイイなら
射精したらどうですか!?

ああそんな
無慈悲なああ……

ほら、射精して!
精液だしてください!

臭い精液びゅーって
射精すればいいのにつ
ほら、ころうですか!?

あっあっイク、イクっ

ほら、射精!
汚い精液吐き出す
時間ですよ、ほらあ!

ヒナタちゃんっ
射精るっっっっっっっ

んっ!!


びびっ
わっ
うっ

やっと射精した...

精子が顔まで飛んで
きてるじゃないですか

はへえ...ごめんね
気持ちよすぎて...

射精人数
残り85人



ひ、ヒナタちゃん
次おじさんね！
おじさんも責めて！

ふー…う
変態の人しか
いないんですか？
何が嬉しいのか
分かりません…

ああ、チンポに
くるなあこの娘…

ヒナタ自身は本心から
気持ち悪がっているのだが、
マツツ気のある男たちは
大喜びで淫語パイズリを求めた。
技巧も上がり、ハイペースで
任務が進んだプレイだった。



ヒナタの任務はここにきて
ようやく半分が終わった。

パイズリ奉仕で射精した
人数が50人を突破したのだ。
ヒナタはやはり才能があり、
一人に割かなくてはならない
時間もかなり短縮された。

なんのつもりか、男たちは
ヒナタに精液を洗わせる
どころか、拭うことも禁止
していた。おかげで精液の
臭いが部屋に充満し、
ヒナタは胃がつかえる
思いを我慢していた。

しかしこの状況でもまだ半分。
大勢の男がヒナタのパイズリを
待ちわびているのであった。

射精人数
残り48人

ようやく順番の回ってきた男が
すぐヒナタに行方を要求する。
まだまだ多くの男たちが
自分の番までこの巨乳を前に
我慢させられているのだ。
しかし、当のヒナタは流石に
疲労困憊の様相であった……。

いやあ、強気で攻める
ヒナタちゃんも
エロかったね！
ほんと才能あるよ、
次はおじさんにして
もらうからねえ。

あの、少しだけ
休ませてください……
ホントに疲れて……
はあ……はあ……

ええっそんなあ
そう言われても
おじさんだって
我慢の限界だよ

す、少しだけで
いいですから……
はあ、はあ……

……そうだなあ、じゃ
仰向きに寝転がって
くれる？おじさん達
勝手にパイズリさせて
もらうからさ、ね？

は……はい



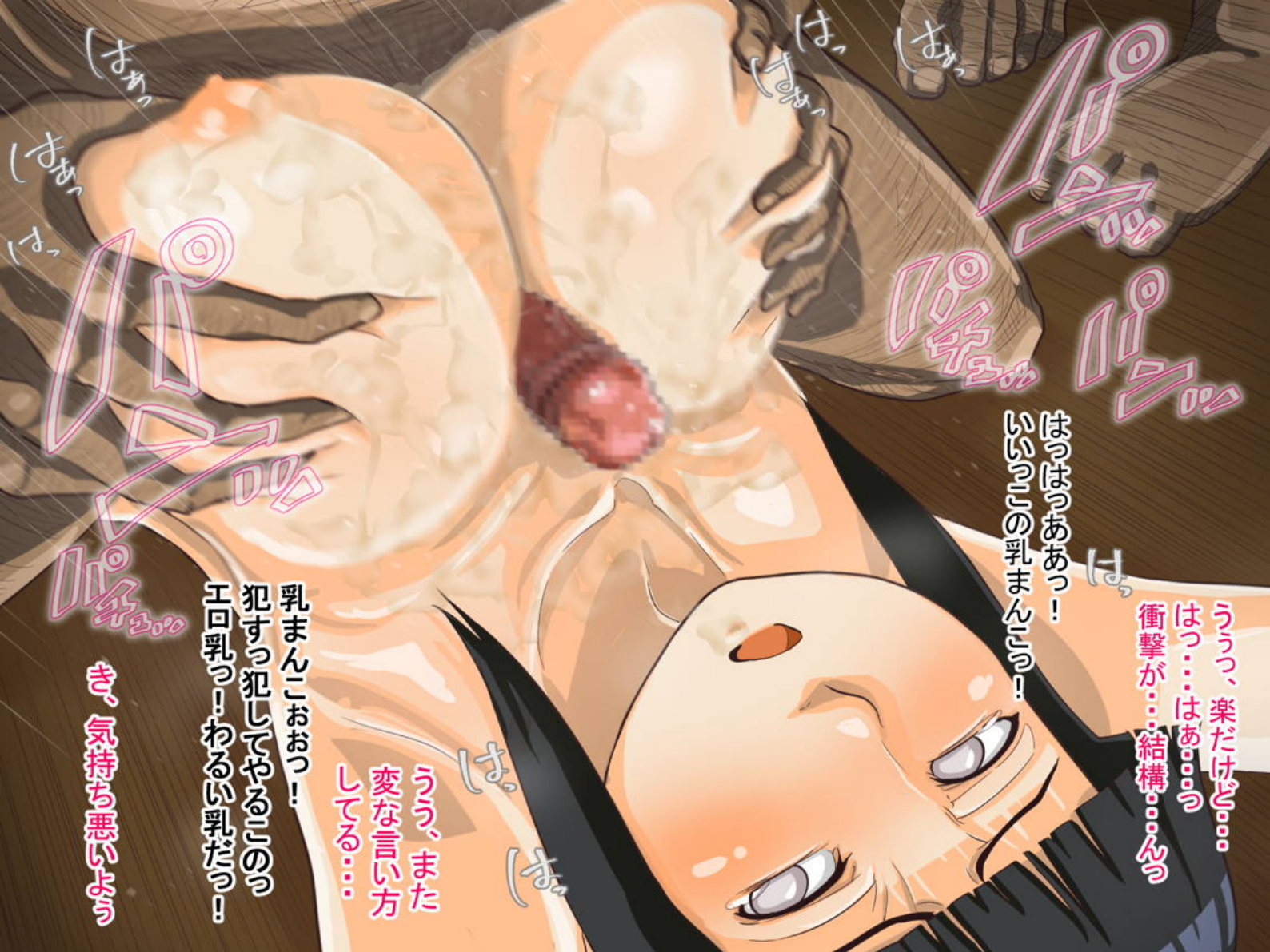
んっ…
挿入ってきた…

おおっすじっ
どんだけでかいんだよ
ヒナちゃんったら…
こりゃたまらんわ

あの、ほんとに
寝てるだけで
大丈夫ですか？

これなら十分に
パイズリセックスできるよ
安心しておじさん達に
おっぱい貸してね！

せ、セックスじゃ
ないです…



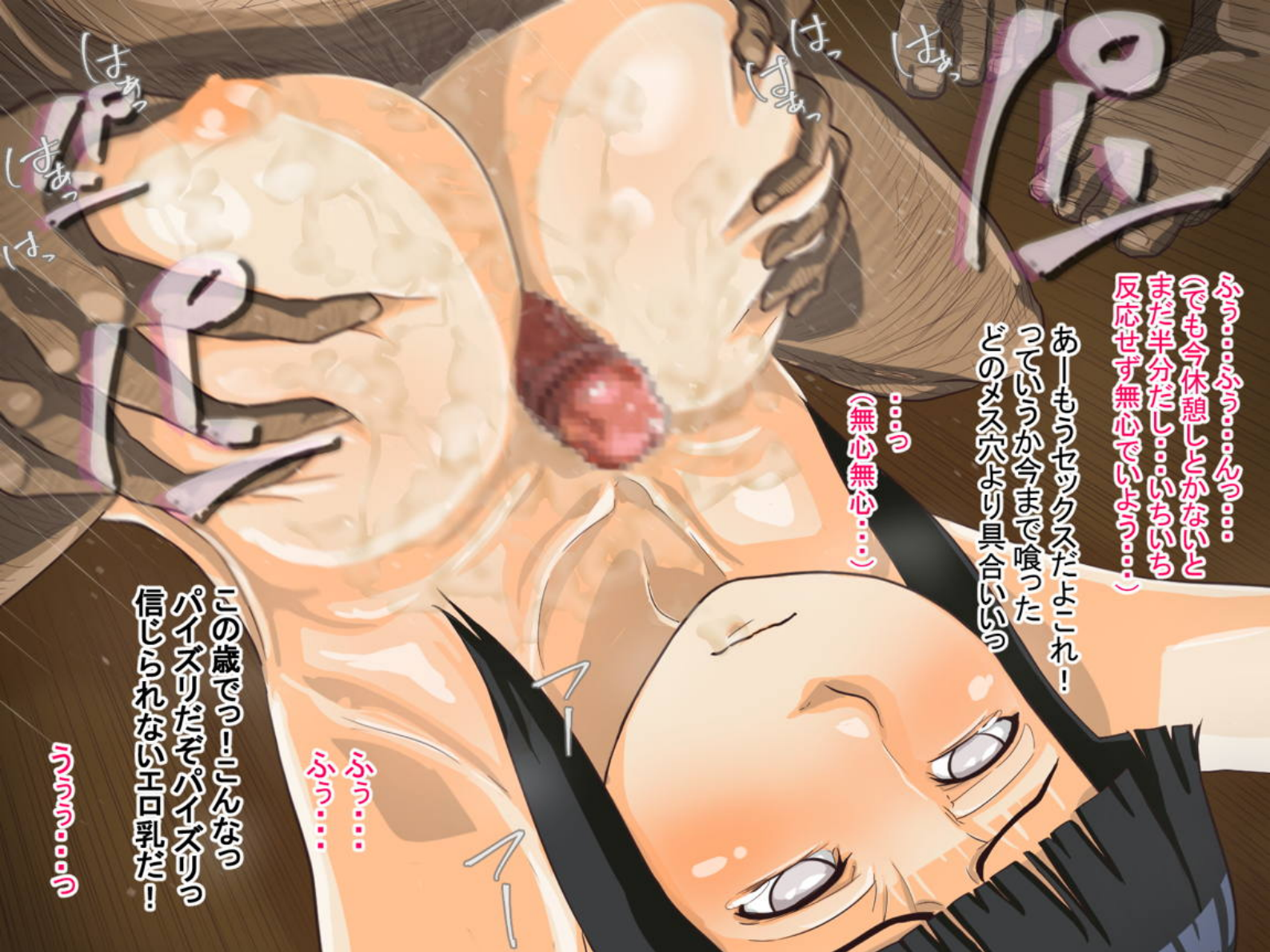
うっ、楽だけども
はっ...はあ...
衝撃が...結構...んっ

はっはっああっ！
いっの乳まん...!

はっ
はっ
うう、また
変な言い方
してる...

乳まんこおおっ！
犯すっ犯してやるのっ
エロ乳っ！わるい乳だっ！

き、気持ち悪いよう



ふう……ふう……んっ……
(でも今休憩しとかないと
まだ半分だし……いちいち
反応せず無心でいよう……)

あーもうセックスだよこれ！
っっていうか今まで喰った
どのメス穴より具合いいっ

……
(無心無心……)

ふう……
ふう……

この歳でっ！こんなっ
パイズリだぞパイズリっ
信じられないエロ乳だ！

んんん……っ

エロい音たててるよ
ヒナタちゃんの
おっぱいまんこ！
セックスもこんな音
たててやるんだよ！

い、いやあ……
（セックスの話されたら
変に意識しちゃう……
聞きたくないのに……）

ふっ……ふっ……
（ほ、ほんとにこんな
音鳴るのかな……
ぱちんぱちんって……）

あー出る！最高の射精っ！
おじさんの人生で一番濃い
精液出すぞっ！ああっ！



どろ
び
ゃ
っ
と

おおおおおっっっ！
出るっっっっ出るっ
イクイクっっっっっ！

ズ
ン
カ

きやああっ……
出てる……っ
か、顔にかかる……

おおおっす！おおおっ
まだまだ出る……っ！



射精人数
残り47人

ふうう……
おじさんいっぱい
出しちゃったよ……
すごく良かったよ
ヒナタちゃん

そ、そうですか……
濃くて臭いので
満足してもらった
のはわかりますけど……

次オレだけど、まだ
疲れてそうだし
このままやらせてよ

えっと……
そちらが
良ければ……



ヒナタが一応の
休息を取ろうと
する間、男どもは
遠慮なく身体に
跨りパイズリをした。
これで任務達成に
大きく近づいたが、
結局疲れはとれず
精液まみれになる
彼女であった……。

は……
は……
く、臭い……


どろ

うひゃ、随分
精液便所って感じに
なっちゃったな(笑)

うっ……
は、吐きそう……

どろ

射精人数
残り11人



いよいよ任務の終わりが
見えてきたというところで、
残りの男たちは再びヒナタに
自らが主体となるパイズリを求め、
彼女はそれに応じ身体を起こした。

「あと少しだ」と言い聞かせ
気力をふり絞り、男の前に
跪く姿に恥じらいはなかった。
もう恥ずかしがっている余裕も
なくなってしまうのだ。

すっかり上達した乳奉仕は
この日初めて男の肉棒と触れた
生娘だとは到底信じられないほど
淫靡な行為に見えるのだった。

よーし、じゃ挿入させて…
あー入ってく入ってく…
おお…ぬるぬるでエッロお…

ぬる…
♡

んっ…これも硬くて熱い…
あの、いっぱい締め付けますから
早めに射精してくださいね

そうはいくか…って
言いたいところだけど…
これは長くもたないなあっ
挿入したけなのにもう
すっごい気持ちいいもん

ふう…んっ…
じゃあ動かします…

おお、ああっ
すごっおっぱいが
あ、ああっ左右にいつ！

ど、どうですか……？
気持ちいいんですよね
こうやって動かすと……

ああ気持ちいい……
気持ちよすぎるよ……
こんな短時間で「こ」まで
上手になるものなのか……っ

べ、別に上手なんかじゃ……
こんなの褒められても
嬉しくないよ……私は
忍者なのに……うう……

なんだね、喜びなさい
大名の性処理任務だって
立派な忍者の仕事の一つ
じゃないかあ……ははは！
とつても誇らしいとだよっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐい

ひく

うう、もういいから
早く射精してくださいー！
上手かどうかなんて
どうでもいいです、ほら
もう射精してくださいー！

あっあっひいっちよっ！
きもちいいっだめだっ
射精る、射精るうっっ！

ふうっふうっ
この、このっ！

よ、容赦ない
パイズリでイクっ
ヒナタちゃんの
ドスケベテクで
射精するうっっ！

うっつ射精るッ!

しゅわ

ひゅっ
ゅっ♡

12/11

「のっ...もう、汚い...
量、多いですね...っ!」


どろどろ……
なんでこんな
臭いんですか……？
大体なんで洗ったら
駄目なんです……

むわわわ

おお……出た出た
むふふ、いい具合に
精液まみれた……
あと数人だからね、
気にせず続けようね。

ふう……はい……
（なんでこの人たち
嫌がらないの……？
他の人の精液とか
嫌じゃないの……？）

射精人数
残り10人



今更ながら、百人の性処理を
続けさせる過程で一度も体を
清めるのを許さない大名たちの
真意が分ならず困惑するヒナタ。

何度か尋ねたがその度に
へらへらといやらしい笑いを
浮かべる一同が彼女の不安を
煽った……一体何なのだろう？

しかし残り10人……。
考えるだけ時間のムダだと
次々と男を射精させていく
ヒナタであった……。

はあ、はあっ。。。すごっ
すごいよヒナタちゃんっ
ホントに百人おっぱいで
抜いちゃったよ。。。!!

へえああ。。。
もう、流石に。。。
疲れました。。。

よし、じゃあご褒美
あげようねヒナタちゃん
任務達成したからねえ

ご、ご褒美。。。?
それは任務報酬で
もらうからもう
帰らせてください。。。

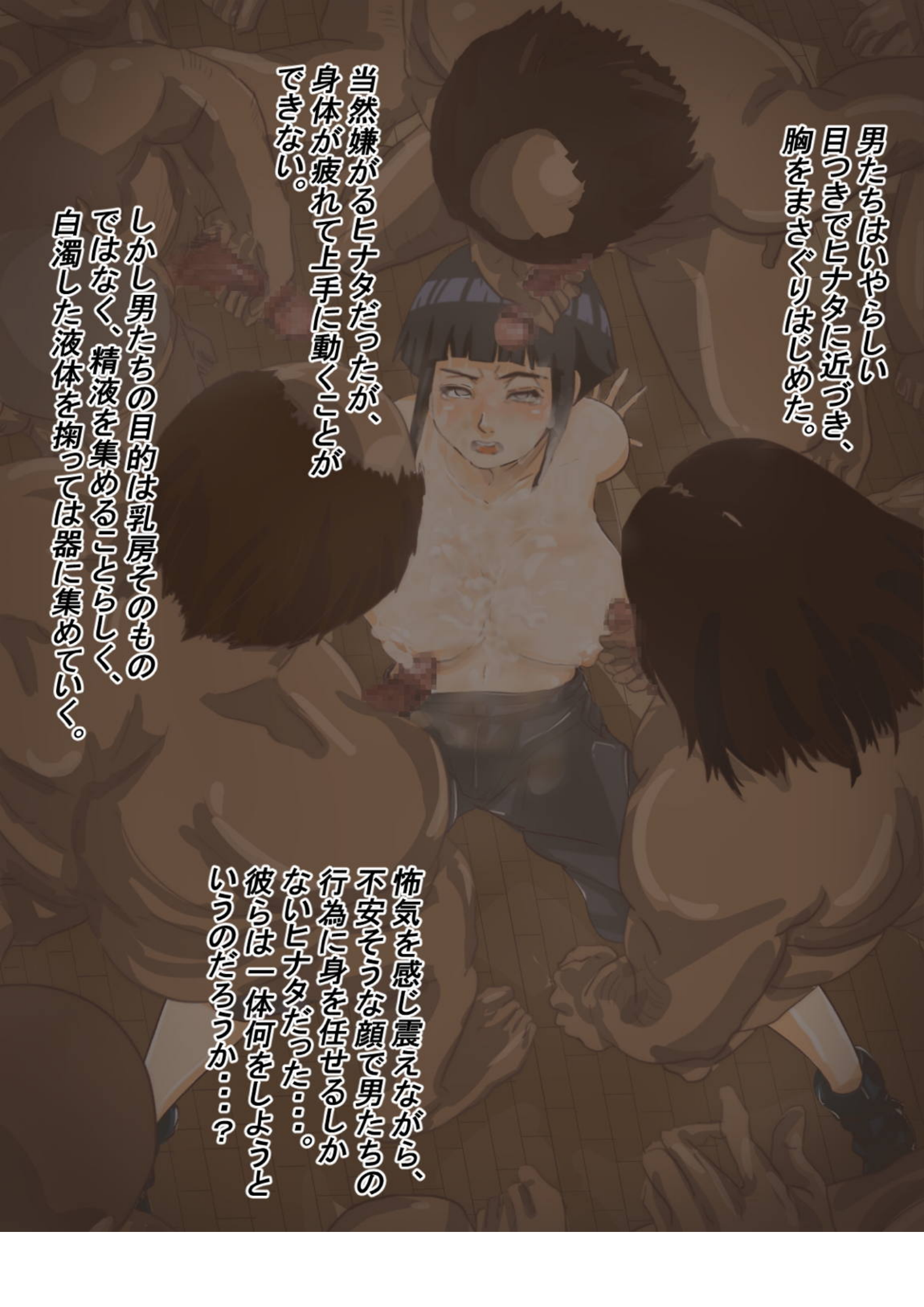
そう言われても
用意しちゃうよ、
ほら材料は既に
そこにあるん
だからねえ。。。

そ。。。?

ほら、おっぱいに載ってる
精液だよ。。。おじさんたちが
取ってあげるからねえ

き、綺麗にしてくれる
ってことですか。。。?

射精人数
残り0人



男たちはいやらしい
目つきでヒナタに近づき、
胸をまさぐりはじめた。

当然嫌がるヒナタだったが、
身体が疲れて上手に動くことが
できない。

しかし男たちの目的は乳房そのもの
ではなく、精液を集めることらしく、
白濁した液体を掬っては器に集めていく。

怖気を感じ震えながら、
不安そうな顔で男たちの
行為に身を任せるしか
ないヒナタだった……。
彼らは一体何をしようとい
うのだらうか……？

男たちに身体をまさぐられ
放心状態のヒナタであったが、
確かにその身体からは相当な
量の精液が拭い取られていた。

も、もう……
やめてください……
に、任務は終わったんじや
ないんですか……はあ、はあ……

いやあ、綺麗にして
あげただけじゃないか、
疲れたるうから飲み物
まで用意したんだよ？

の、飲み物……
確かにのどは
乾いてるけど……
はあ……はあ……



□
□
□
!?

ヒナタの前に出されたのは、
さつきまで自らの身体についていた
この男たちの汚らしい精液を
混ぜ入れた器だった。。。。

男たちはこれを
飲ませるために、
百人分の精液を
拭わせることを
許さなかったのだ。。。。



ま、まさかそれを……
その精液を飲ませようと
してるんじゃない?!

そうだよ。飲んでもらうのが
楽しみで仕方なかったよ……
おじさん達は本番禁止という
条件が結構気に入らなくてね……

そ、そんな……

こんなに私頑張った、
頑張ったのに……っ
き、気に入らないって……!!

いやいや、ヒナタちゃんの
パイズリ奉仕はすごく
良かったよ、満足してるんだ。

ただ、ヒナタちゃんを内側から
犯したいんだよ……。
セックスの代わりにね!

ひっ！ヤダッやだあっ！
やめてくださいっ！
離してええええええーっ！

おら動くな！犯されたいのか？
飲めば帰してやるっつてんだよ！
こっちだって我慢してやったんだ
俺らの精液くらい飲みほせよ！

そんなんっ！お、お願い！
お願いだから離してえ！
ちや、ちゃんと任務したのに
私ちゃんと頑張ったのに！

グググ...

フッ
フッ
フッ

ブル
ブル

む、ふっ...ふっ...
む、無理、無理い!!

帰れないよ?せつかく
頑張った守った処女が
めちやくちやにされて
いいの?(笑)

ひ、ひどいっ!!
こ、こんなの任務じゃ
ないっ!あ、あなた達
だってタダじゃ済まない
んじゃないですか!?

そんなものお金だけで
なんとでもなるんだよ!
御託はいいから飲むか
犯されるか選びなさい!

ほーら飲んでヒナタちゃん
ホントに犯しちゃうよ?
大丈夫、意外とすぐ終わるって!
グイっと一気にいっっちゃおうよ!

むっ



疲れて抵抗もむなしく、男どもに無理やり押さえつけられるヒナタ。。。器を強引に口につけられ、もはや覚悟するしかなかった。

てぐっ

う、うぶうぶ!!
んぐっ。。。んっ。。。
い、いやあ！口に入ってくる。。。気持ち悪い！

おおくええなあ！
やつぱり。。。おぼこに精液飲ますんは興奮するのぉっ、ははは！

んぐっ

んうう。。。つむぐっ
んぐうっ。。。
（この人たちひどい。。。でも飲まなきや犯される！うう苦い！ホントは絶対に嫌なのにい。。。っ！）

ぐ……お、おえ……
う……ぐ……ぐ……
（ほ、吐きそう……う……
む、無理……こんなの……
全部飲むなんて無理……）

ちよつとヒナタちゃん
全然減ってないよ！
飲みほさないと……あ！
吐いたら犯すからね、
しつかり全部食べなさい！

う……う……う……ぐ……
の、飲むから……犯さないで……
犯すのだけは……う……ぶ……

よーしいい子だ……っ！
じゃあほら、もっともっとと
飲みなさい！さあさあ！
おじさん達の子種しつかり
胃の中に詰め込みなさい！

おえ……

30分後
□□□

じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ

ブ
コ
ク

じゅっ！じゅるるっ！
ん…じゅる…っ
ごくっ…ごくっ、んぐっ！
(臭い苦い臭い苦い
臭い苦い汚い汚い臭い
臭い汚い臭い臭い)

ん〜よしよし、ゆっくり
だけど大分減ったねえ！
偉いよ〜もうちよつとだから
頑張ろうねヒナたちゃ〜ん

ぶぐっ…んじゅるっ
じゅるっ…はい…
ごくっ…うえ…っ

再び
30分後……

うぶ……

うおおっ！完食！
ヒナタちゃんお疲れ！
すっごい良かったよお！

おう、よう頑張ったのお！
吐いてもうて犯したる
つもりやったのにな(笑)
えらい根性や、褒めたるわ

うぶ……わ、私
もう帰ります……
さ、里に帰って……
全部……忘りたい……

なんだ忘れるなんて寂しいこと
言うなよ！おじさん達とは
肌を擦り合わせた関係だろ！
いや、これは最後にもう一つだけ
思い出作りしないとなあ！

へ……？


ヒナタちゃんの精飲見てたら
おじさん達勃起止まらなくてさー！
最後にぶっかけさせてよー！
記念記念ーいいでしょ？ね？

ぐすっ…ほんとに
もう嫌あ！嫌だよお！

帰してえ…！ぐすっ
ナルト君…ナルト君…っ
もう帰りたい、帰りたい！

好きな男の子の名前かな？
ホントに精液かけるだけだから
お願いだよ！それで終わり！
ホントのホントに終わりだからね！
その子のところ帰れるんだからさ

うええ…っ
ぐすっひっひっく…っ
うええええんっぐすっ



男たちは一斉に
ヒナタに向かって
セクスリを始めた。
解放されるのは
彼らが満足した後……
理不尽な行為に絶望
するヒナタであった……

ああ泣き叫ぶヒナタちゃん
愛らしすぎてもう射精る！
射精するよヒナタちゃん！

もういやあああああ
うわああんっうあああ
ひぐっやめてえええええ

こりや興奮するわ…
また真っ白にしてやるからな
ヒナタちゃん…おおっ射精る
やはりチンポに来るぞこの忍者あ！

助けてええっ
おうち帰してえええ



うっ！

んう……っ
やだあ……

ああ「っちも
い、イクッ！

しっ
ひも

ひっ
かう

うっ……

ぐた

ぐた

ぐた

あー次「っち
射精るぞ
おおイク……

はあっはあっ
ワシもイクっ！

ぐ
っ

ぐ
っ



もういやあああつ
かけないでええっ

射精るぞっ!!

どびっ

どびっ

どびっ

オラ! デカ乳に
射精してやる!
ううっ!!

やだっって言ってる
のに、やめてええ!

どびっ

ひゃっ

おおおっぐう!!

イクイクイクっ

あー射精すっ!

やあああああつ!!

ひいっやあああつ

もうやだよおおおっ!!

イクッ!

どびっ

男たち百人に再度
精液まみれにされた
ヒナタ。シヨックと疲れで
話す気力もなくなつて
しまった……。

□
□
□

よしっ！ヒナタちゃん
これで終わりだよ！
お疲れ様……って
あんまり聞こえて
ないのかな？

報酬は里に渡しとるから
帰って受け取るんやぞ
色付けといたったからな
欲しいもん買ったらええ

はい……
ありがとう
ございます……

すごく良い
慰安任務だったよ
またお願いすると
思うよ、よろしく！

□
□
□

ふっ……

わちよ……

この後身体を清め、無事里に帰ることが出来たヒナタであったが、元来の恥ずかしがりな性格がこのショックで、少し悪化したようであった。

しかし、二度と慰安任務は受けたくないという思いは彼女の日々の修行の成果を向上させ、結果的に本来の忍としての才能が少しずつ開花していくきっかけとなった。

任務報酬は大名が言った通りかなりの大金で、その使い道はもっぱら修行用に使ったりしたもの、使い切れなかったようだ。彼女が求めるのはお金ではなく忍として認められることなのだ。

任務をこなしていく中、大名からの慰安任務は全て断ることが出来るくらいの評価は得られた。

この後、想い人のナルトが里を出て修行をする二年の間、また慰安任務を受けることになるのだが、それはまた別の機会に……